

「やさしく学べる C 言語入門 [第 2 版]」(第 5 刷) 正誤表

	誤	正
p.125, 第 8.5 節の 3 行目	とした場合は, アドレス fp (つまり, fp が存在する場所を) を関数に渡すこととなります.	とした場合は, ファイルポインタ fp (つまり, fp が存在する場所を) を関数に渡すこととなります.
p.127, 下から 6 行目	<code>fwrite</code> 文の書式	<code>fwrite</code> 関数 の書式
p.128, 7 行目	<code>fread</code> 文の書式	<code>fread</code> 関数 の書式
p.173, 下から 5 行目	文字列を printf 文で表示する際には変数仕様 %s を使います. %s は char 型のポインタを要求し, それに対応するアドレスから文字を表示して NULL 文字を検出したところで表示を止めます. それでは, 本節のまとめとして文字列の初期化とその表示を行うプログラムを作成してみましょう. プログラム 11.1 は, 文字配列 str1, str2 を文字列定数で初期化して, str1 を文字列として出力し, str2 を各要素ごとに出力するプログラムです.	文字列を printf 文で表示する際には変数仕様 %s を使います. %s は char 型のポインタを要求し, それに対応する 先頭 アドレスから 順 に文字を表示して NULL 文字を検出したところで表示を止めます. それでは, 本節のまとめとして文字列の初期化とその表示を行うプログラムを作成してみましょう. プログラム 11.1 は, 文字配列 str1, str2 を文字列定数で初期化して, str1 を文字列として出力し, str2 を 各 要素ごとに出力するプログラムです.
p.175, fgets 関数の書式の後.	例えば, 標準入力から最大 99 文字を配列 str に読み込むには	例えば, 標準入力から最大 99 文字を配列 str1 に読み込むには
p.181, 第 11.6 節の直前	この問題のように printf 文を使って 2 重引用符を出力するには書式文字列において \" とします.	この プログラム のように printf 文を使って 2 重引用符を出力するには書式文字列において \" とします.
p.187, 10 行目	一方, すべての文字を 2 バイトで表現する文字の集合をワイド文字 (Wide Character Set) といい,	一方, 原則として , すべての文字を 2 バイトで表現する文字の集合をワイド文字 (Wide Character Set) といい,